

令和2 年度（2020 年度）

事業実施報告



新潟県立環境と人間のふれあい館
— 新潟水俣病資料館 —

ご 挨拶

昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で厳しい運営となりました。令和2年4月18日から5月10日まで休館を強いられた他、予定していた事業が次々に中止に追い込まれました。その結果、入館者数は17,670人となり、過去最低の前年度を大きく下回る結果になってしまいました。

このような状況の中で、新たな動きもありました。県内の小学校、中学校の修学旅行での利用です。今までは、ほとんどありませんでしたが、コロナ禍の中で、遠くに行くことができず、小学校8校、中学校5校が修学旅行で当館を訪れてくれました。

新規事業につきましては、何とか2つ実施することができました。1つ目は、「一日館長お笑い芸人・高橋なんぐと新潟水俣病を学ぼう！」です。これは、新潟水俣病の経験と教訓が若年世代の親子へ効果的に語り継がれることを目的に高橋なんぐ氏に一日館長に就任していただき、小学校5・6年生の親子と一緒に館内を探検し、新潟水俣病をテーマにアクティブラーニングの一環である「調べ学習」を実践してもらうものです。8組の親子が参加しました。

2つ目は、「新潟水俣病学習サポーター事業」です。これは、教育現場における新潟水俣病学習の普及・充実を図るため、これまで新潟水俣病学習に携わってきた教員OB等のサポーターを小中学校へ派遣し、水俣病学習の指導・助言を行う事業です。延べ10校の利用がありました。

当館の特色のひとつになっている語り部の口演につきましては、高齢化が進み、年々実質的に活動いただける方が減ってきておりましたが、今年度、新たに2名の方から引き受けて頂くことができました。

この他にも、コロナ禍の中で中止になった事業もありますが、各種事業を実施しました。詳細は「事業報告」をご覧ください。

最後に、令和3年度は当館が開館して20年になります。いくつかの記念事業を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

令和3年5月

新潟県立環境と人間のふれあい館

—新潟水俣病資料館—

館長 中澤 篤 夫

目 次

I 新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 - の概要

1	新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 - の目的	1
2	事業体系	1
3	施設の概要	2
4	事業推進体制	3

II 令和 2 年度 事業報告

1	施設の利用状況	4
2	展示学習及び教育・啓発推進事業	5
3	資料整備促進事業	10

III 令和 2 年度 利用実績

1	月別来館者数	11
2	視聴覚利用数	11
3	学校利用実績	12
4	団体利用実績	14

[参考]	来館された児童・生徒などの感想	15
------	-----------------	----

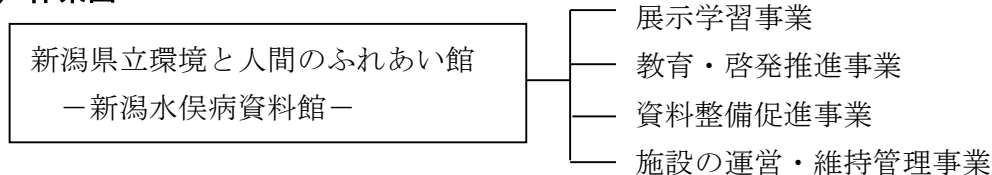
I 新潟県立環境と人間のふれあい館—新潟水俣病資料館—の概要

1 新潟県立環境と人間のふれあい館—新潟水俣病資料館—の目的

新潟水俣病という公害を経験した県として、その経験と教訓を生かし二度と同じような公害を発生させてはならないということの後世に伝え、水の視点から環境を大切にする意識を育むとともに、新潟水俣病に関する情報の発信、提供に努めることにより、公害の根絶と環境保全の重要性を啓発する。

2 事業体系

(1) 体系図



(2) 各事業の内容

ア 展示学習及び教育・啓発推進事業

新潟水俣病についての理解を深めるとともに、水の視点から環境の大切さなどを啓発するため、下記の事業を重点的に行いました。また、常設展示物や実験等での体験を通して参加体験型施設としての機能の充実を図るとともに、利用者に対するサービスの充実と効率的な管理運営に努めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言を踏まえた臨時休館（4月18日～5月10日）や、例年開催していた水俣病発生地域間交流事業、新潟水俣病講演会等主催イベントの開催を断念せざるを得ない状況が続きました。

- ・新潟水俣病学習、人権・環境教育での活用、学習支援
- ・新潟水俣病患者による「語り部」口演の実施
- ・小学校中学校への地域の環境学習等支援事業の実施
- ・写真パネル展の開催
- ・大学と連携した新潟水俣病に関する普及・啓発活動及び研究及び講義等の支援
- ・水俣病発生地域間交流事業参加報告書グループワーク学習成果発表資料の作成
- ・新潟水俣病学習サポーター事業（新規事業）
- ・1日館長 お笑い芸人・高橋なんぐと新潟水俣病を学ぼう！（新規事業）
- ・ホームページを利用した情報発信、広報
- ・幼児・児童を対象とした「キッズクラブ」の運営
- ・公害資料館パンフレット配布、パネル紹介コーナーの設置

イ 資料整備促進事業

新潟水俣病に関する資料等の収集を行い、分散化の抑止と整備保管に努めました。

ウ 施設の運営・維持管理事業

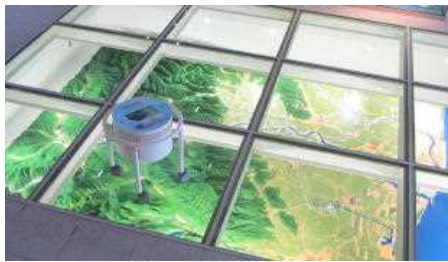
館の事業活動（常設展示、普及啓発、資料収集）の効率的な運営と定着を図るとともに、テラス床面防水工事、手摺取替工事など施設の安全かつ快適な維持管理に努めました。また、管理運営協議会における意見を反映させて、円滑でより良い施設運営を目指しました。

3 施設の概要

(1) 展示エリア（常設展示）

ア 水辺のいきものと阿賀野川のくらし

川の中をイメージした空間で、水辺にすむ生き物たちの宝庫となっている阿賀野川の風景や歴史を紹介しています。初めて来館された方がイメージしやすいよう、阿賀野川流域ジオラマとパソコンの組合せによる関連地点の説明により、水俣病発生当時の流域の生活や教訓を幻想的な空間の中で感じ取ることができます。



「阿賀野川スコープ」



「阿賀野川シアター」

イ 新潟水俣病

新潟水俣病の歴史や教訓・経験を、パネル展示と映像・資料で紹介しています。

また、公害を発生させないためにはどうすればよいのかを考えるきっかけとなるような情報を提供しています。



「歴史年表グラフィック」



ウ 水とわたしたちの生活

生活や環境の視点から水の大切さを紹介しています。また、環境クイズや人力水質浄化装置など、自ら体験しながら楽しく学習することができます。



「人間の活動と環境の関わり展示」



(2) 研修室

映像「新潟水俣病」「『新潟水俣病からの学び』未来へつなぐ新潟の自然～悲劇を繰り返さないために～」及びアニメーション「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」を上映して、新潟水俣病の経験と教訓を伝えています。また、講演会などの企画事業を行っています。

最大利用定員：100人（椅子のみ使用の場合）

設備：100インチスクリーン&プロジェクター（DVD、PC対応）



(3) 多目的室

各種団体の小会議や学習の場として利用できます。

最大利用定員：10人



(4) 図書室

水俣病や環境に関する図書及びビデオ・DVDソフト等を収蔵し、閲覧や視聴が可能です。また、パソコンを利用して当館ホームページから水俣病に関する資料の検索や情報をご覧いただけます。

書籍：2,242冊、VTR：390本、マイクロフィルム（戦後日本公害事件史料集成 坂東克彦史料）75巻

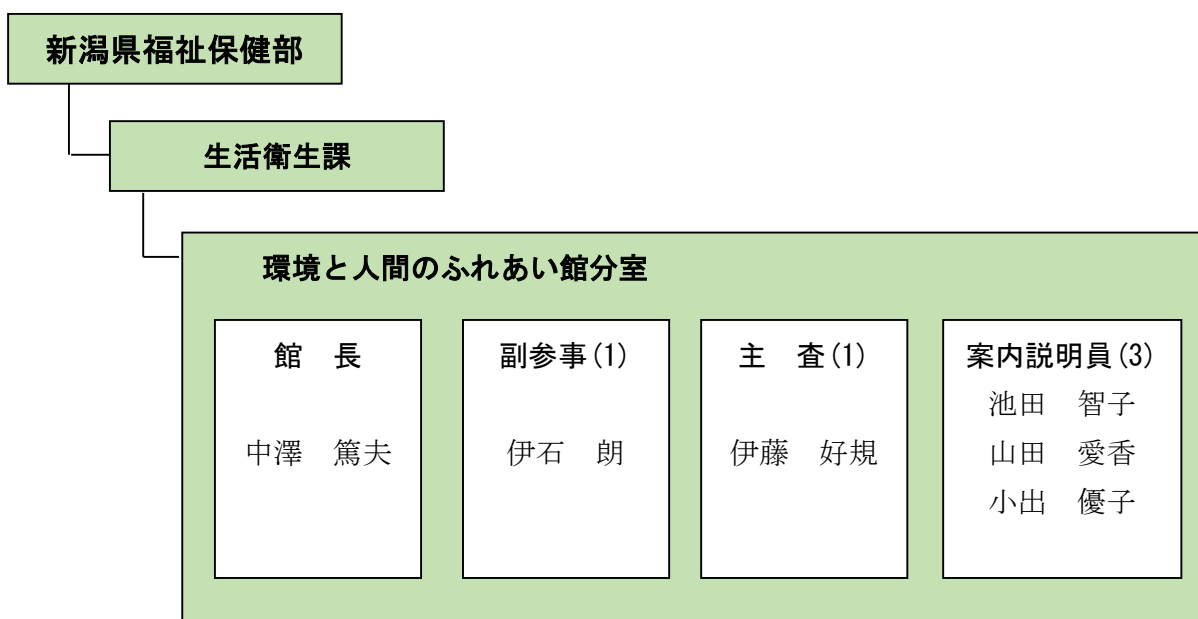


(5) ホール

明るい吹抜けのアメニティ空間で、年間を通じ写真パネル展を開催しています。各地の公害資料館のパンフレットを一堂に集めたコーナーも設置しています。



4 事業推進体制



II 令和2年度 事業報告

1 施設の利用状況

(1) 来館者

令和2年度の来館者数は17,670人でした。平成13年8月の開館からの累計来館者は702,564人となりました。(新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言を踏まえ、令和2年4月18日～5月10日の間、臨時休館しました。)

(2) 学校等及び団体の利用状況

令和2年度の団体利用の状況は、学校関係は82校(4,282人)、教育関係団体3団体(48人)、その他2団体(47人)で、計5団体(95人)が利用しました。

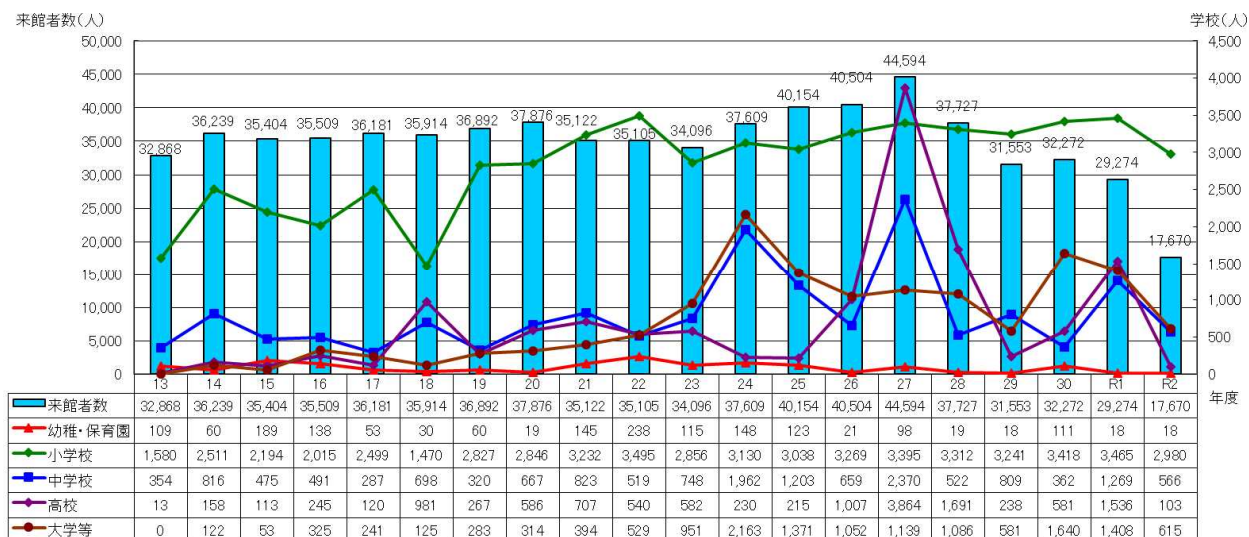
《学校利用状況》

年度	合計		幼・保育園		小学校		中学校		高等学校		大学等	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令2	82	4,282	1	18	61	2,980	7	566	1	103	12	615
令元	103	7,696	1	18	71	3,465	8	1,269	5	1,536	18	1,408
30	112	6,112	2	111	67	3,418	7	362	4	581	32	1,640

《団体利用状況》

年度	合計		教育関係団体										その他団体	
			小学校教員		中学校教員		高校教員		教育委員会等		計			
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令2	5	95	3	48	0	0	0	0	0	0	3	48	2	47
令元	57	1,209	16	263	4	30	4	85	0	0	24	378	33	831
30	57	1,480	13	241	2	8	1	6	0	0	16	255	41	1,225

[参考] 《年度別 来館者数・学校利用状況の推移》



※平成13年度は、開館日の平成13年8月1日から平成14年3月31日までの集計。

2 展示学習及び教育・啓発推進事業

(1) 語り部口演

新潟水俣病の歴史や現状を正しく伝え、差別・偏見の解消及び環境の大切さを伝えるために、語り部による口演を74回(3,002人)行いました。

口演回数を対象別にみると、小学校55回、中学校8回、高校1回、大学等6回、教員4回、その他0回となっています。

《令和元年度 語り部別口演実績》

語り部	合計		館内		出張		学校・団体等対象別語り部回数					
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	小学校	中学校	高校	大学等	教員	その他
小武 節子	15	561	13	380	2	181	11	0	0	3	1	0
山崎 昭正	15	1,002	11	287	4	715	11	3	0	1	0	0
小町 ゆみ子	3	59	3	59	0	0	1	1	0	0	1	0
立川 小三郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
曾我 浩	15	502	12	271	3	231	12	2	0	1	0	0
水澤 洋	1	20	1	20	0	0	1	0	0	0	0	0
権瓶 良雄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
語り部DVD	21	624	21	624	0	0	18	2	0	0	1	0
語り部DVD (館長)	2	139	0	0	2	139	0	0	1	1	0	0
語り部DVD (サポーター)	2	95	0	0	2	95	1	0	0	0	1	0
合計	74	3,002	61	1,641	13	1,361	55	8	1	6	4	0

※「館内」：環境と人間のふれあい館内で行った口演、「出張」：館外で行った口演

《年度別 語り部口演実績》

年度	合計		館内		出張	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
令2年度	74	3,002	61	1,641	13	1,361
令元年度	95	5,942	80	3,120	15	2,822
30年度	107	4,439	88	3,248	19	1,191

○ 新潟水俣病の経験と教訓について口演する語り部のみなさん



小武 節子さん



山崎 昭正さん



小町 ゆみ子さん



立川 小三郎さん



曾我 浩さん



水澤 洋さん



権瓶 良雄さん

(2) 新潟水俣病の学習

映像「新潟水俣病」「『新潟水俣病からの学び』未来へつなぐ新潟の自然～悲劇を繰り返さないために～」やアニメーション「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」（新潟県作成）を学校、団体及び一般来館者を対象に77回（2,694人）上映し、水俣病の発生から現在に至るまでの歴史や被害者の苦しみ、水環境の大切さなどを広く伝えました。

また、来館の際に理解をより深くするため、小・中学校等での事前学習を勧めており、これらの映像を貸出しました。

	合計	学校					団体			一般
		小学校	中学校	高校	大学等	小計	教員等	その他	小計	
上映回数	77	51	5	0	7	63	4	3	7	7
視聴団体数	42	25	5	0	7	37	3	2	5	-
視聴者人数	2,694	2,565					105			24

※映像の貸出は含まない。

(3) 水環境の学習

水の大切さ及び環境保全について説明しました。

水の環境を学習するために、CODパックテストによる水質実験を行いました。

実験名	回数	参加者数
CODパックテスト	73回	268人



(4) 各種企画事業の開催

新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、例年開催していた講演会や水俣病発生地域間交流事業は中止しました。

ア 新潟水俣病学習成果パネル展

開催期間：令和2年4月1日～4月17日

入館者数：1,103人（期間中）

イ フィールドミュージアム事業パネル展

「貴重な写真でたどる 明治・大正・昭和の日本、近代産業をめぐる光と影
～財閥と鉱山、化学産業の台頭、そして石油の時代へ～」

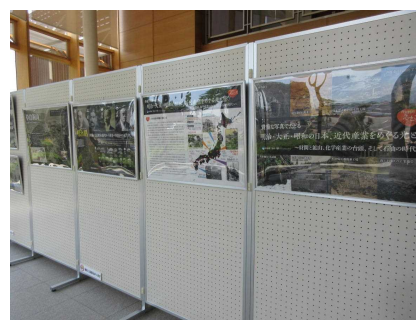
開催期間：令和2年5月20日～6月21日

入館者数：1,114人（期間中）

ウ 新潟水俣病写真展

開催期間：令和2年7月1日～8月23日

入館者数：2,516人（期間中）



エ 一日館長 お笑い芸人・高橋なんぐと新潟水俣病を学ぼう！

(新規事業)

新潟水俣病の経験と教訓が若年世代の親子へ効果的に語り継がれることを目的に、令和2年度から新たに行った事業です。ふれあい館の一日館長に就任した高橋なんぐ氏と阿賀野川流域地域の小学校5・6年生の親子と一緒に館内を探検し、新潟水俣病をテーマにアクティブラーニングの一環である「調べ学習」を実践しました。

開催日：令和2年8月1日

会場：環境と人間のふれあい館

講師：一日館長 高橋なんぐ氏

((有)ナマラエンターテイメント)

サポート講師 環境と人間のふれあい館

新潟水俣病学習サポーター

対象：阿賀野川流域地域小学校5・6年生の親子

参加者：8組(16人)



オ 阿賀野川流域の光と影の歴史をテーマとしたパネル展

「懐かしい写真で振り返る 阿賀野川・光と影の近代ものがたり

～イザベラ・バードから近代産業まで～

開催期間：令和2年9月1日～9月29日

入館者数：1,803人(期間中)



カ 阿賀野川パネル展

「頻発する豪雨に備え、阿賀野川・早出川を考えるパネル展」

(国土交通省主催巡回パネル展)

開催期間：令和2年11月17日～11月29日

入館者数：1,157人(期間中)



キ 新潟水俣病講座(大学と連携・協力した講座の開催)

○協力大学：新潟県立大学

開催日：令和2年5月21日

講師：環境と人間のふれあい館語り部

参加者数：127人(リモートにより実施)

○協力大学：新潟食料農業大学

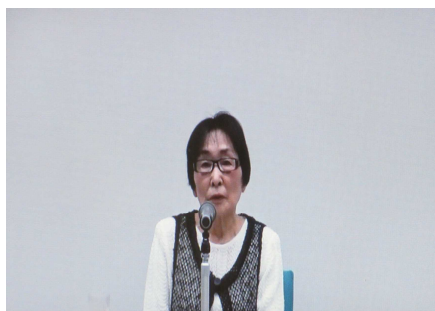
開催日：令和2年7月2日

講師：環境と人間のふれあい館職員

参加者数：143人(リモートにより実施)

○協力大学：新潟産業大学

開催日：令和2年7月29日



講 師：環境と人間のふれあい館館長
 参加者数：36人（リモートにより実施）



○協力大学：新潟医療福祉大学
 開催日：令和2年10月29日
 講 師：環境と人間のふれあい館館長
 参加者数：130人

○協力大学：新潟医療福祉大学
 社会福祉学部社会福祉学科
 開催日：令和2年11月5日
 講 師：環境と人間のふれあい館語り部
 参加者数：54人



○協力大学：新潟青陵大学短期大学部
 開催日：令和2年12月5日
 講 師：環境と人間のふれあい館語り部
 参加者数：13人（リモートにより実施）

ク 新潟水俣病学習サポーター事業(新規事業)

教育現場における新潟水俣病学習の普及・充実を図るため、これまで新潟水俣病学習に携わってきた教職員OB等を県内小中学校等へ派遣し、水俣病学習の指導・助言を行う学習サポーター事業を令和2年度から行いました。

令和3年3月末現在、登録サポーター3名。

新潟水俣病を子どもたちにどう指導していったらいいか、社会科や道徳で扱うにはどのような時期やタイミングで指導を行っていけばいいのかなど、教師向けに授業づくりを手伝う事業を始めました。



活動日	地区	団体名	人数		内容	映像	語り部	備考
			教員	生徒				
8月6日	新潟市中央区	新潟大学附属新潟小学校	1		授業づくり		—	会場：館
8月20日	新潟市北区	新潟市立豊栄南小学校	13		職員研修		DVD	
8月21日	新潟市中央区	新潟大学附属新潟小学校	1		授業づくり		—	
8月27日	新潟市西区	新潟市立坂井輪小学校	17		職員研修	○	—	
9月1日	南魚沼市	南魚沼市立中之島小学校	14		職員研修	○	—	
9月28日	新潟市中央区	新潟大学附属新潟小学校	1	33	ゲストティーチャー		—	
10月5日	新潟市中央区	新潟大学附属新潟小学校	1	33	ゲストティーチャー		—	
12月18日	長岡市	長岡市立四郎丸小学校	3		授業づくり		—	
1月20日	新潟市南区	新潟市立白根小学校	1		授業づくり		—	
2月12日	長岡市	長岡市立四郎丸小学校	4	78	ゲストティーチャー		DVD	

ケ 野鳥写真と愛鳥週間ポスター原画作品展

開催期間：令和2年12月19日～令和3年1月17日

内 容：県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里所蔵の野鳥写真展入賞作品及び愛鳥週間用ポスター原画新潟県大会の入選作品を展示

入館者数：551人（期間中）



コ あがのがわ写真展

開催期間：令和3年1月24日～2月14日

内 容：阿賀野川治水協会主催「第28回阿賀野川写真コンテスト」の入賞作品を展示

入館者数：840人（期間中）



サ 環境と人間のふれあい館キッズクラブ

会員数：84名

実施内容：バースデーカードを郵送
イベント情報を郵送

(5) 環境の学習と福島潟関連施設との連携

新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、例年開催していた夏休みこども工作教室、クリスマス工作は中止しました。また、福島潟自然文化祭も同様の理由で中止となりました。

アンコール！「第26回福島潟フォトコンテスト」入賞作品展

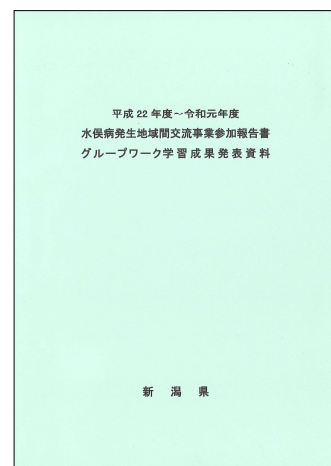
開催期間：令和2年10月4日～11月3日

入館者数：1,850人（期間中）



(6) 教師用指導資料集等作成事業

環境学習・人権学習の参考にしてもらえるよう、新潟県と熊本県水俣市の小学校児童の交流を通じて、水俣病問題を正しく理解し、その教訓を次世代に伝えるとともに環境保全に対する意識向上を図るために行っている「水俣病発生地域間交流事業」の参加報告書及びグループワーク学習成果発表資料(平成22年度～令和元年度)をまとめた冊子を作成しました。



3 資料整備促進事業

水俣病に関する資料収集を行い、分散化の抑止と整備保管に努めました。また、主に水環境に関する環境関係書籍やVTRの収集保管を行いました。(令和3年3月31日現在累計)

水俣病裁判資料等の収集			7,634点
図書等の整備状況	書籍	水俣病関係	680冊
		その他(河川環境、環境問題など)	1,562冊
	VTR		390本
	マイクロフィルム「戦後日本公害事件史料集成坂東克彦史料」		75巻

Ⅲ 令和2年度利用実績

1 月別来館者数

月	来館者数(人)			増減 (令2-令元)	開館日数(日)			1日平均(人)		
	令2年度	令元年度	30年度		令2年度	令元年度	30年度	令2年度	令元年度	30年度
4	1,103	3,780	4,212	▲ 2,677	15	26	26	74	145	162
5	809	1,595	1,864	▲ 786	18	27	26	45	59	72
6	1,076	3,841	2,367	▲ 2,765	25	26	26	43	148	91
7	1,699	2,835	3,009	▲ 1,136	27	26	26	63	109	116
8	1,454	3,363	4,491	▲ 1,909	26	27	27	56	125	166
9	1,904	3,197	3,389	▲ 1,293	26	25	26	73	128	130
10	2,328	3,150	2,806	▲ 822	27	27	26	86	117	108
11	2,759	2,849	3,636	▲ 90	25	26	26	110	110	140
12	1,751	1,804	1,894	▲ 53	24	23	23	73	78	82
1	402	1,175	1,149	▲ 773	24	23	23	17	51	50
2	1,195	1,577	1,618	▲ 382	24	25	24	50	63	67
3	1,190	108	1,837	1,082	26	2	27	46	54	68
計	17,670	29,274	32,272	▲ 11,604	287	283	306	62	103	105

開館からの累計 702,564人 (令和3年3月末現在)

2 視聴覚利用数

※映像DVD「新潟水俣病」「新潟水俣病からの学び～悲劇を繰り返さないために～」
及びアニメ「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」の視聴

(1) 上映回数及び視聴者数

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校	上映回数(回)	0	1	1	6	0	8	12	22	6	4	3	0	63
	視聴者数(人)	0	127	33	284	0	236	431	1091	188	85	90	0	2,565
団体	上映回数(回)	0	0	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	7
	視聴者数(人)	0	0	0	30	30	14	17	0	14	0	0	0	105
一般	上映回数(回)	0	0	1	1	2	1	0	0	1	0	1	0	7
	視聴者数(人)	0	0	3	1	7	5	0	0	1	0	7	0	24
合計	上映回数(回)	0	1	2	9	4	10	13	22	8	4	4	0	77
	視聴者数(人)	0	127	36	315	37	255	448	1091	203	85	97	0	2,694

(2) 「新潟水俣病」DVDの視聴学校・団体名

ア 学校

※()内の数字は視聴回数を表す

区分	学校数 (回数)	視聴学校名
小学校	25校 (51回)	葛塚東小学校(4)、早通小学校、両川小学校、新関小学校、新大附属小学校、女池小学校(4)、燕南小学校、大崎学園(3)、住吉小学校(3)、直江津小学校、榎原小学校、黒崎南小学校、枇杷島小学校(2)、猿橋小学校(5)、外ヶ輪小学校(2)、浦川原小学校、清里小学校、豊原小学校、小針小学校(4)、太夫浜小学校、川東小学校、亀田東小学校(4)、桜が丘小学校(4)、東小学校(2)、大洲小学校
中学校	5校 (5回)	北条中学校、牧中学校、下条中学校、名立中学校、柏崎翔洋中等教育学校
高等学校	0校 (0回)	
大学等	7校 (7回)	新潟県立大学国際地域学部、新潟食料農業大学、佐渡看護専門学校、新潟医療福祉大学、新潟大学理学部、日本自然環境専門学校、新潟産業大学

イ 団体

団体区分	団体数 (回数)	視聴団体名
教員等 学校関係	3団体 (4回)	坂井輪小学校教員(2)、中之島小学校教員、城西中学校区同和教育研究推進協議会
その他団体	2団体 (3回)	鳥屋子供育成会(2)、元気塾

3 学校利用実績

学校区分	学校数(校)	人数(人)
幼稚園・保育園	1	18
小学校	61	2,980
中学校	7	566
高等学校	1	103
大学・専門学校	12	615
合計	82	4,282

[学校内訳]

No.	来館日	曜	所在地	学校名(学年)	人数	目的
1	5月21日	木	新潟市東区	新潟県立大学国際地域学部	127	水俣病の学習
2	6月30日	火	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校6年	33	水俣病の学習
3	7月1日	水	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校6年	35	水俣病の学習
4	7月2日	木	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校6年	35	水俣病の学習
5	7月2日	木	胎内市	新潟食料農業大学	143	水俣病の学習
6	7月3日	金	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校6年	36	水俣病の学習
7	7月3日	金	新潟市江南区	新潟市立早通小学校4年	15	水環境の学習
8	7月8日	水	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校6年	130	水俣病の学習
9	7月29日	水	柏崎市	新潟産業大学	36	水俣病の学習
10	7月30日	木	新潟市江南区	新潟市立両川小学校4年	20	水環境の学習
11	9月4日	金	新潟市北区	新潟市立豊栄南小学校4年	17	水環境の学習
12	9月8日	火	新潟市秋葉区	新潟市立新関小学校4・5年	21	水俣病の学習
13	9月11日	金	上越市	上越市立東本町小学校5年	72	水俣病の学習
14	9月16日	水	新潟市秋葉区	新潟市立阿賀小学校4年	47	水環境の学習
15	9月18日	金	十日町市	十日町市立下条中学校3年	26	水俣病の学習 /修学旅行
16	9月24日	木	新潟市中央区	新潟大学附属新潟小学校5年	33	水俣病の学習
17	9月29日	火	新潟市中央区	新潟市立女池小学校5年	127	水俣病の学習
18	9月29日	火	佐渡市	佐渡看護専門学校2年	29	水俣病の学習
19	10月1日	木	妙高市	妙高市立新井中央小学校5年	59	水俣病の学習
20	10月2日	金	新潟市北区	新潟市立南浜中学校1年	25	水俣病の学習
21	10月7日	水	柏崎市	柏崎市立北条中学校3年	19	水俣病の学習 /修学旅行
22	10月8日	木	燕市	燕市立燕南小学校6年	35	水俣病の学習 /修学旅行
23	10月8日	木	上越市	上越市立牧中学校3年	11	水俣病の学習 /修学旅行
24	10月13日	火	三条市	三条市立大崎学園5年	98	水俣病の学習
25	10月21日	水	長岡市	新潟県立長岡明德高校1年	103	水俣病の学習
26	10月22日	木	新発田市	新発田市立二葉小学校5年	40	水俣病の学習
27	10月27日	火	新発田市	新発田市立七葉小学校5年	29	水俣病の学習
28	10月28日	水	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	57	水俣病の学習
29	10月28日	水	上越市	上越市立名立中学校3年	13	水俣病の学習 /修学旅行

No.	来館日	曜	所在地	学校名(学年)	人数	目的
30	10月29日	木	上越市	上越市立直江津小学校6年	31	水俣病の学習 /修学旅行
31	10月29日	木	柏崎市	柏崎市立榎原小学校6年	37	水俣病の学習 /修学旅行
32	10月29日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学3年	130	水俣病の学習
33	10月30日	金	新潟市西区	新潟市立五十嵐小学校5年	142	水俣病の学習
34	11月4日	水	新潟市西区	新潟大学理学部自然環境科学 プログラム	14	水俣病の学習
35	11月5日	木	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	29	水俣病の学習
36	11月5日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科3年	54	水俣病の学習
37	11月10日	火	新潟市西区	新潟市立黒埼南小学校5年	24	水俣病の学習
38	11月10日	火	柏崎市	柏崎市立枇杷島小学校6年	49	水俣病の学習 /修学旅行
39	11月11日	水	燕市	燕市立分水小学校6年	76	水俣病の学習 /修学旅行
40	11月11日	水	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	124	水俣病の学習
41	11月11日	水	柏崎市	柏崎翔洋中等教育学校全校生	428	水俣病の学習
42	11月12日	木	新発田市	新発田市立外ヶ輪小学校5年	62	水俣病の学習
43	11月13日	金	新潟市中央区	日本自然環境専門学校	7	水俣病の学習
44	11月17日	火	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	63	水俣病の学習
45	11月17日	火	新発田市	新発田市立中浦小学校5年	18	水俣病の学習
46	11月18日	水	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	64	水俣病の学習
47	11月19日	木	上越市	上越市立浦川原小学校6年	27	水俣病の学習 /修学旅行
48	11月19日	木	上越市	上越市立清里小学校6年	28	水俣病の学習 /修学旅行
49	11月19日	木	上越市	上越市立豊原小学校6年	32	水俣病の学習 /修学旅行
50	11月20日	金	上越市	上越市立国府小学校5年	36	水俣病の学習
51	11月25日	水	上越市	上越市立国府小学校5年	37	水俣病の学習
52	11月25日	水	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	89	水俣病の学習
53	11月26日	木	新潟市中央区	新潟市立沼垂小学校5年	72	水俣病の学習
54	11月26日	木	柏崎市	新潟産業大学経済学部 経済経営学科	10	水俣病の学習
55	11月27日	金	新潟市西区	新潟市立小針小学校5年	130	水俣病の学習
56	12月1日	火	上越市	上越市立春日新田小学校5年	68	水俣病の学習
57	12月2日	水	新潟市北区	新潟市立太夫浜小学校5年	34	水俣病の学習
58	12月3日	木	新潟市中央区	新潟市立上山小学校5年	140	水俣病の学習
59	12月4日	金	五泉市	五泉市立川東小学校4年	29	水環境の学習
60	12月5日	土	新潟市中央区	新潟青陵大学短期大学・谷口ゼミ	13	水俣病の学習
61	12月8日	火	新発田市	新発田市立東豊小学校5年	27	水俣病の学習
62	12月8日	火	新発田市	新発田市立藤塚小学校5年	13	水俣病の学習
63	12月9日	水	新発田市	新発田市立東豊小学校5年	25	水俣病の学習
64	12月10日	木	新発田市	新発田市立東豊小学校5年	24	水俣病の学習
65	12月11日	金	新潟市西蒲区	新潟市立松野尾小学校5年	20	水俣病の学習
66	12月15日	火	新発田市	新発田市立天王小学校5年	17	水俣病の学習

No.	来館日	曜	所在地	学校名 (学年)	人数	目的
67	12月17日	木	新潟市江南区	新潟市立両川小学校4年	19	水環境の学習
68	12月18日	金	新潟市江南区	新潟市立亀田東小学校5年	32	水俣病の学習
69	12月18日	金	新潟市江南区	新潟市立亀田東小学校5年	30	水俣病の学習
70	12月22日	火	新潟市江南区	新潟市立亀田東小学校5年	31	水俣病の学習
71	12月22日	火	新潟市江南区	新潟市立亀田東小学校5年	32	水俣病の学習
72	12月23日	水	阿賀野市	阿賀野市立水原小学校5年	90	水俣病の学習
73	1月27日	水	新潟市中央区	新潟市立桜が丘小学校5年	85	水俣病の学習
74	2月2日	火	新発田市	新発田市立東小学校5年	73	水俣病の学習
75	2月3日	水	胎内市	胎内市立きのと小学校5年	31	水俣病の学習
76	2月18日	木	新発田市	新発田市立米子小学校5年	11	水俣病の学習
77	2月19日	金	新発田市	ルンビ二保育園	18	施設見学
78	2月24日	水	柏崎市	柏崎市立大洲小学校5年	17	水俣病の学習
79	2月25日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科3年	27	水俣病の学習
80	3月4日	木	新発田市	新発田市立佐々木小学校5年	23	水俣病の学習
81	3月12日	金	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科3年	25	水俣病の学習
82	3月12日	金	津南町	津南町立津南中学校2年	44	水俣病の学習 /修学旅行

4 団体利用実績

団体区分		団体数 (団体)	人数 (人)
教育関係 団体	小学校教員	3	48
	中学校教員	0	0
	高等学校教員	0	0
	教育委員会等	0	0
	小計	0	0
その他の団体		2	47
合計		5	95

[団体内訳]

No.	来館日	曜	所在地	団体名	人数	目的
1	7月25日	土	新潟市北区	鳥屋子供育成会	30	水環境の学習
2	7月31日	金	上越市	上越市立東本町小学校教職員	21	水俣病の学習 (教員研修)
3	8月27日	木	新潟市西区	新潟市立坂井輪小学校教員	13	水俣病の学習 (教員研修)
4	10月28日	水	新潟市東区	元気塾	17	水俣病の学習
5	12月25日	金	上越市	城西中学校区同和教育研究推進 協議会	14	水俣病の学習 (教員研修)

〔参考〕 来館された児童・生徒などの感想

語り部さんのお話を聞いて

先日は、お忙しい中私たちのためにお話しをしていただき、ありがとうございました。私はお話を聞いて、川はきれいに戻っても新潟水俣病はまだ完全に解決できていないということを知りました。

他人事ではなく、自分事としてしっかりと今あるこの問題を考えられる人でいたい。そのためにも、私が正しい情報を知り、理解をして、差別や偏見をしない生活を送りたいと思います。今回、曾我さんからお話ししていただいたことをこれから先、私がもっと大きくなって大人になっても忘れないようにしたいです。

柏崎市立北条中学校 3年 (R2. 10. 7 来館)

語り部さんのお話を聞いて

新潟水俣病が伝染病だといううわさが流れ、日常生活や結婚などで差別的な扱いを受けたというお話を聞き、今証拠もない噂がインターネット上でひろがり、特定の人や世界中の人から批判されている状況が思い浮かびました。正しい情報を選び、人の気持ちを考えて行動する力が大切だと改めて思い、差別やいじめはあってはならないことだと強く感じました。

柏崎翔洋中等教育学校 (R2. 11. 11 出張語り部)

語り部さんのお話を聞いて

寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。先日は、水俣病のことについて色々教えて下さりありがとうございました。

先日の口演を聞いて、学んだことは2つあります。

1つ目は、水俣病は人を変えてしまうということです。やさしかった節子さんのご主人が水俣病になり、人が変わってしまったということが分かりました。

2つ目は、差別や偏見をされることで、心にきずがついてしまうということです。水俣病になり、差別や偏見をされ、心に深いきずができてしまうということが分かりました。水俣病になった人々には、心にいたみや苦しみを残ってしまうことが印象に残りました。

「自分が積極的にならなければいけない。」「もうこのような心のいたみ、苦しみがないようにしたい。」という節子さんの言葉を聞いて、私も積極的になろうと思いました。

これからも、お身体に気をつけて口演活動がんばってください。

胎内市立きのと小学校 5年 (R3.2.3 来館)

語り部さんのお話を聞いて

地域社会の特徴は、人々との深い結びつきが生まれることや、コミュニティの中にいるという意識を持てる点だと考えます。しかし、小武さんのお話を聞いて、その特長があるからこそ、新潟水俣病によって差別や大きな地域の分断が起こったのではないかと考えました。地域社会の中で形成される住民同士の強いネットワークがそこにある怖さだと感じました。それによって何かあった時にすぐに助け合うこともできれば、情報の速さによる噂、妬みや差別が発生すればすぐに地域社会は崩壊してしまうのだと感じました。

また、小武さんは阿賀野川は庭のような場所だったと仰っていました。昔は川で遊び、魚もたくさん食べ、その川から受けた恩恵を感じている方がたくさんいたのだと思います。

水俣病であることを隠したり信じようとしらない人の中には、慣れ親しんだ川での公害を信じたくないという思いを持った方もいたのではないかと考えました。

地域社会への問題点という観点でお話を聞くと、新たに見えてくる新潟水俣病の恐ろしさがありました。

新潟県立大学 (R2.5.21 オンライン授業)

水俣病の授業を受けての感想

新潟水俣病の人たちは、周りの人（特に身近な人）から理解されなかったのは、自分におきかえると、友達からさけられる、悪口を言われるなどをされることと同じだと思います。なので、そう考えるととてもつらいことだと思います。前、先生からの話しであったように、自分の大切な人（家族、友人）が差別・偏見をされていたらと、ひ害者の人たちの気持ちになって考えることが、差別・偏見をなくすことにつながっていくと思います。

特に、今コロナウイルスで実際に、差別・偏見が起きています。現状とこの勉強で考えたことを重ねて考えないといけないと思いました。まだ、私達の身近にコロナウイルスの感染者はいないけど、もしコロナウイルスが身近になってきたら、この学習を活かせるチャンスだと思います。

日々、頭にいれて生活したいです。

長岡市立四郎丸小学校 5年 (R3.2.12)

新潟県立環境と人間のふれあい館
— 新潟水俣病資料館 —

〒950-3324

新潟県新潟市北区前新田字新々囲乙 364-7

TEL 025-387-1450 FAX 025-387-1451

ホームページ <http://www.fureaikan.net>

Eメール fureai@abeam.ocn.ne.jp

————— 利用のご案内 —————

- ◆開館時間 9:30 ~ 16:30
- ◆休館日 毎週月曜日（月曜が休日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）
臨時休館日についてはお問い合わせください。
- ◆入館料 無料
- ◆団体でのご利用の際は、事前にお申し込みください。